【Ｒ１８】会話形式ノベル

『下級生の男子にお仕置きをする女子』

作：七条右京

【登場人物】

・丸井桜子(まるい さくらこ):上級生の女子

・柚木成真(ゆずき せいま)：下級生の男子

廊下を歩いていた柚木成真は、運悪く校長の娘でもある上級生の丸井桜子と出くわしてしまった。

桜子の顔を見るなり、目をそらしてしまった成真。

桜子は、その成真の態度に腹を立て、理科実験室に連れて行き、お仕置きをする。

柚木成真・心の声：

『あっ、向こうから上級生の女子が来る』

『やだなぁ、怖いな』

廊下を歩いていた成真の向こうから、校長の娘でもある上級生の丸井桜子がやって来た。

とっても臆病な性格の成真の心臓は、バクバク状態になった。

桜子との距離も近づいて来た時に、成真は思わず目線をそらしてしまった。

丸井桜子:

「ちょっと君」

「上級生には、挨拶しなきゃ駄目でしょう？」

成真：

「す、すみません」

桜子:

「君の態度、なんか気にいらないわね」

「ちょっと一緒に来なさい」

桜子は成真の手を掴んで、理科実験室に連れて行こうとした。

成真：

「せ、先輩、どこに連れてくんですか？」

「ボ、ボク・・・」

「ゆ、許して下さい」

「お願いします」